

新たな年に

小野町議会議長 田村 弘文



新年明けましておめでとうございます。町民の皆さんにおかれましては、ご家族とともに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より議会活動に對しまして、特段のご指導とご協力、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

私も議員は、昨年1月の改選で、立候補者が定数に満たず、28年ぶりの無投票による選出となりました。2月1日から新たに選出された11人の議員により、新しい体制の下で議会活動を開始しています。

3月の定例会において議会改革特別委員会を設置し、今後の議会のあり方など、議会全般の諸問題について協議を進めています。

議員活動では、行政調査の目的として、地域コミュニケーションを核とした町づくり、住民の自主的な地域づくり、デジタル社会への対応などに積極的に取り組んでいる千葉県佐倉市、山形県長井市、西会津町などを訪問し、今後の町づくりに反映すべき施策などについて

意見交換を行いました。

昨年は、社会教育の分野で、市町村対抗軟式野球大会では準優勝、ソフトボール大会では第3位、ゴルフ大会ではベスト8、ふくしま駅伝では、前年度の順位とタイムを大幅に更新するなど、選手の皆さんには最高のパフォーマンスを通して、町民の皆さんに元気と感動を与えていただくとともに、福島県下に小野町の名を知らしめていただきました。あらためて感謝とお礼を申し上げます。

昨年4月にはあぶくま高原道路の延伸工事が完了し、相双地区への交通網の充実が図られ、今年の3月には児童館の建設工事が完了し、4月に開園の運びとなりました。また新庁舎建設に伴う小野インター周辺の開発、早期の完成が望まれる右支夏井川河川改修工事、浮金・飯豊上地区の農業基盤整備事業など、大型の事業が進められており、町が大きく変わるものと期待しています。

しかしながら、少子高齢化と急速な人口減少、労働

力不足、経済の減速、原材料などの高騰は、私たちの生活に一層の厳しさを与えています。

町民の皆さんが、安全な環境で安心して、快適に日常生活を送ることができるよう小野町をつくるには、町民の皆さん・行政・議会の三位一体で対処する必要があります。

地域の多様な民意を集約する議会の役割は大きいものであり、若者や女性の視点、経験豊富な方の視点など、多様な人材に参画いただき、議会改革と議会の活性化、住民に開かれた議会活動に取り組んでまいります。

町の将来像であります「人が輝き みんなでつくる しあわせおのまち」を実現するため引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

今年是小野町が誕生して70周年の節目の年であります。

巳年は「新しいことが始まる年」と言われており、小野町のさらなる発展を望むものであります。



結びに、町民の皆さんのご健勝とご多幸、今後ますますのご活躍をご祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

謹賀新年

小野町議会

議長 田村 弘文
副議長 中野 孝一
議員 水野 正廣
宗像 芳男
竹川 里志
先崎 勝馬
緑川 久子
會田百合子
羽生 洋市
國分 順一
橋本 善雄

幸せを実感できる町へ

小野町長 村上 昭正



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さんには、令和7年の輝かしい新春をご家族とともに健やかに迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、元日の能登半島地震をはじめ、線状降水帯による豪雨など、各地で自然災害が発生し、多くの被害をもたらしたほか、物価高騰により地域経済にも大きな影響をもたらしました。

当町においては、頻発化・激甚化する災害に対応するため、県中総合防災訓練の実施などの防災対策に取り組んだほか、地域経済の活性化を図るため、産業振興施策と物価高騰対策などに取り組んでまいりました。

一方、明るい話題もありました。小学生の全日本少年少女空手道選手権大会への出場、中学生の全国中学校柔道大会への出場、高校生の全国高等学校総合体育大会への出場のほか、市町村対抗における軟式野球大会の準優勝、ソフトボール

大会の第3位など、各選手の素晴らしい活躍により、たくさんの方の元気をいただきました。

また昨年4月には県道吉間田滝根線が開通し、相双地域へのアクセスが大きく向上しました。

令和7年は、交通の要衝としての地理的優位性を生かしながら、町総合計画に掲げる将来像の実現に向け、さまざまな施策を町民の皆さんとともに推進しながら、「幸せを実感し、住み続けたい」と感じていただけるまちづくりに取り組んでまいります。

重点的に取り組む事業として、はじめに、役場新庁舎の建設です。

庁舎を小野インターチェンジ周辺に建設するとともに、周辺一帯も整備を進めることで、町の玄関口としての機能を持たせ、交流人口、関係人口の拡大と双葉地域との連携強化などを図ってまいります。

子育て支援については、多様な子育て支援施策を推進するとともに、子どもたちに安全・安心な居場所を

提供できるよう、本年4月の施設供用に向け、建設を進めてまいります。

地域づくりについては、昨年12月に指定管理者制度を活用し、公民館雁田分館に「人づくり」地域づくりのための活動拠点を設置したところですが、急激な人口減少による担い手不足などにより地域活動を維持することが困難な地域が出てくることも想定されることから、まずはこの拠点を軸として、それぞれの地域が有する知識、能力、行動力を互いに活用・補完し合える新たな枠組みでの組織づくりに取り組んでまいります。

健康づくりについては、各種検診などの受診率の向上や健康意識の醸成を図っていくほか、認定ウオーキングコースや健康器具を活用した運動の習慣化や健康まつりの充実を図ってまいります。

空き家対策については、対策協議会の設置を進め、危険空き家の解体や活用の推進などについて取り組んでまいります。

産業の6次化と発酵のまちづくりに関しては、発酵に関心をお持ちの町内外の方々にも事業に参画していただけるような体制づくりや、加工施設や交流施設を備えた拠点施設の整備、新たな発酵食品事業者との連携による発酵食品の開発などに取り組んでまいります。

多文化共生のまちづくりについては、町内在住の外国籍の方々の生活支援体制を構築する必要があることから、日本語教室の拡充を図るとともに、相談窓口の設置などの新たな支援体制も検討してまいります。

今年、町制70周年を迎える年になります。先人が引き継いできた誇りある町を未来へ引き継いでいけるよう、さまざまな課題に取り組みながら、町民一人おひとりが安全で安心して生活することができる持続可能なまちづくりを進めてまいります。

結びに、本年が皆さんにとりまして、健康で素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のあいさついたします。